第12回 JCHO 若狭高浜病院地域協議会 議事概要

【日時】 令和4年2月10日（木）（※資料配布日）

【場所】 書面開催（※新型コロナウイルス感染症対策のため）

【参加者】 四方 啓裕 （福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター 医幹）
的場 均 （高浜町保健福祉課長）
岡 昭彦 （若狭消防組合高浜分署長）
井階 友貴 （小浜市医師会）
河島 浩彦 （高浜町議会議員）
廣瀬 とし子 （高浜町議会議員）
今井 宗雄 （たかはま地域医療サポーターの会）
秋野 裕信 （若狭高浜病院院長）

【議題・概要】

1. 報告事項（令和2年度及び令和3年度の取り組み状況について）

1-① 医師の体制・人員について

- ・令和3年4月より新院長として秋野裕信院長が就任し、それに伴い泌尿器科を開設する。
- ・福井大学地域プライマリケア講座の教員を含む、計2名の医師が増員となる。

1-② 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・令和2年8月に県から指定を受けた新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、発熱外来の設置や感染症患者の受け入れなど、さまざまな対応を行う。
- ・ワクチン接種業務においても、院内接種はもとより、集団接種会場への医師や看護師の派遣などを積極的に行う。

1-③ 経営状況について

- ・令和3年度の経営状況は、前年度と比較し入院収益・外来収益ともに改善しており、新型コロナウイルス対応に伴う補助金などもあり、黒字の収支となっている。

1-④ 高浜町・福井大学・若狭高浜病院による地域医療連携について

- ・令和3年6月に高浜町・福井大学・若狭高浜病院による地域医療推進体制構築への協働連携に関する三者協定を締結し、拠点施設として「たかはま地域医療イノベーションセンター」を設置する。

1-⑤ 救急医療について

- ・コロナ禍となる令和2年度における救急車の受入れ件数は、管内での救急発生件数減少が影響し、前年度と比較し25%の減少となった。しかしながら、依頼があった救急の受入率としては93.7%と高い水準を保っている。

1-⑥ 透析療法について

- ・令和2年6月より稼働日数を週3日から6日とし、新型コロナウイルス感染症対策として、入院患者と外来患者の治療を分けて行っている。

1-⑦ 病児・病後児保育について

- ・コロナ禍となる令和2年度の病児・病後児保育の受入れ件数は、前年度と比較し54.4%の減少となったが、令和3年度の件数については回復の傾向が見られる。

1-⑧ 患者満足度調査結果について

- ・病院患者さんへの満足度調査で、「満足」及び「やや満足」と回答した方の割合
 - 入院患者さん 72.73% (目標 87%以上)
 - 外来患者さん 86.52% (目標 87%以上)
- ・附属介護老人保健施設利用者さんへの満足度調査で、「満足」及び「やや満足」と回答した方の割合
 - 入所の利用者さん 93.5% (目標 92%以上)
 - 通所の利用者さん 95.4% (目標 92%以上)

2. その他

特になし

【ご意見・質疑】

特になし